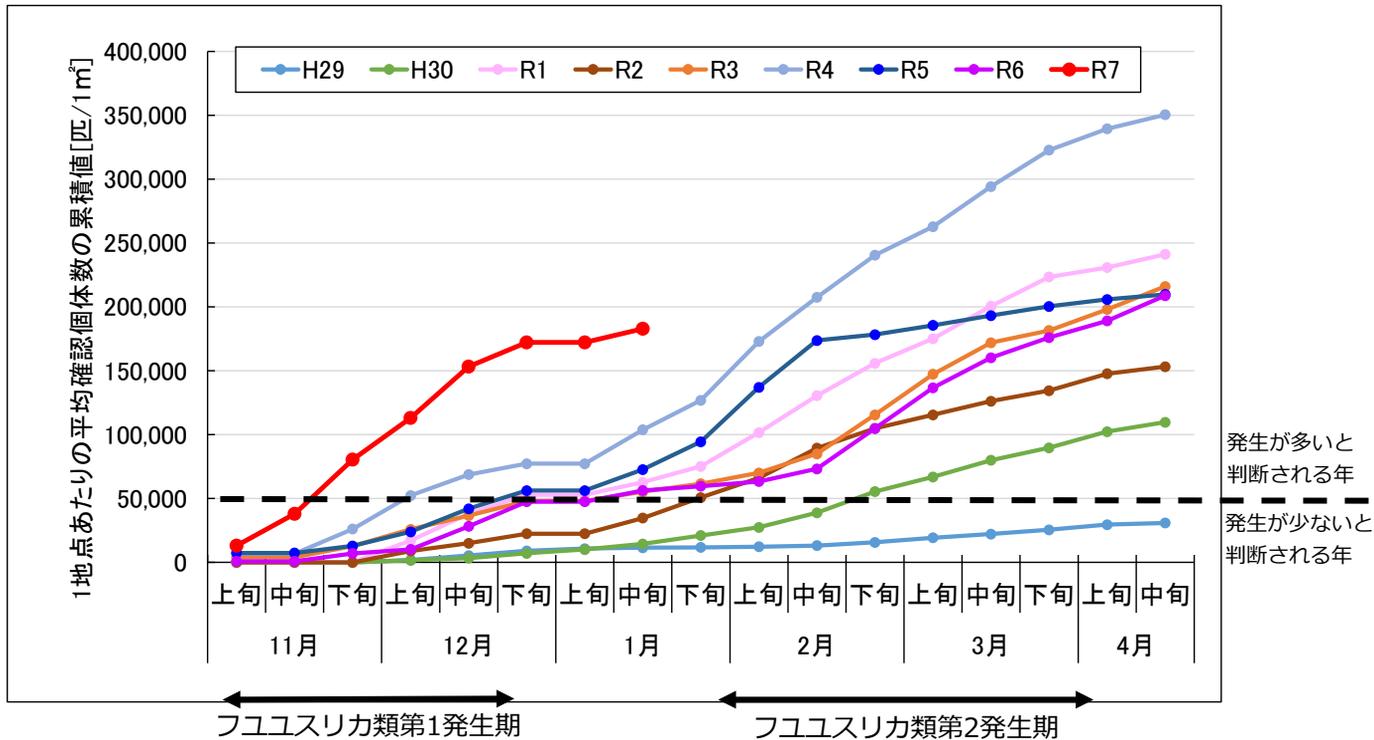
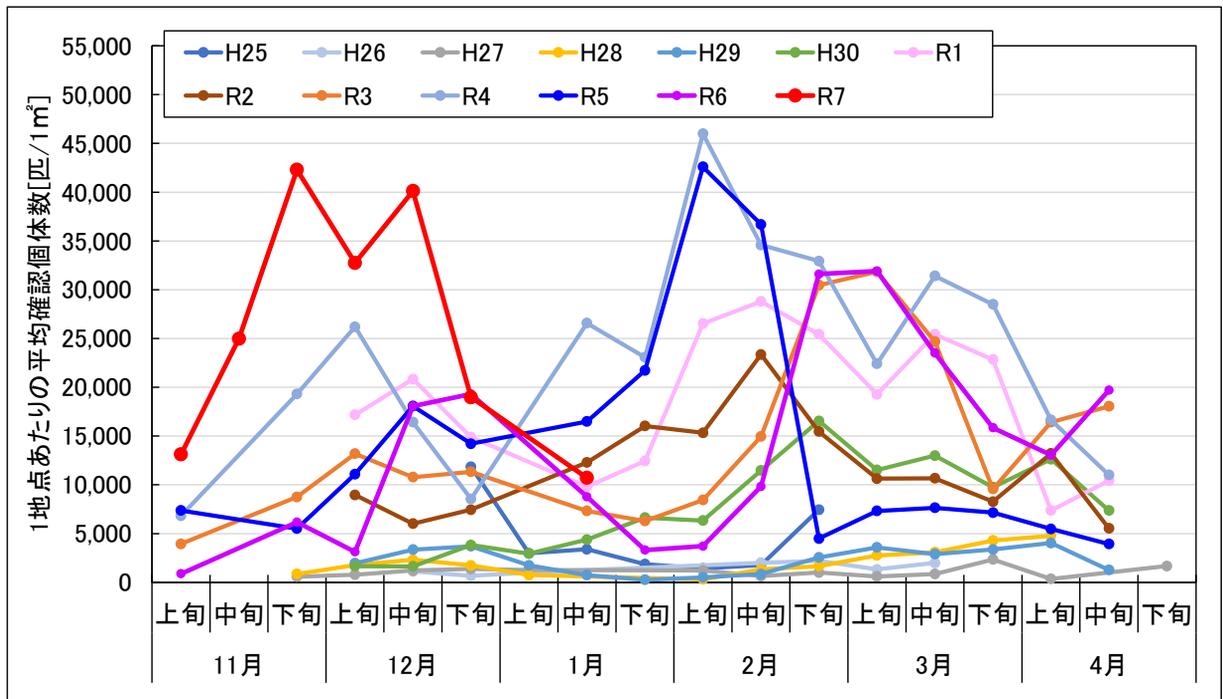


(1)令和7年度の発生状況

令和7年度のユスリカ類の発生量累積値は、1月中旬において、平成29年度以降で、最も多い結果でした。



捕獲個体数累積値の経年比較



各年度における捕獲数の季節推移

※国土交通省木曾川上流河川事務所実施の縦断方向粘着トラップ調査から作成した。H25～R6年度の共通調査地点のデータを使用した。

※共通調査地点：木曾川左岸水際の27.5kp～38.0kpの12地点

※調査方法：1地点あたり約1,200cm²の粘着シートを1回あたり約10日間設置し、捕獲されたユスリカ類を計数。